

令和元(2019)年度事業計画 (案)

(一社)千代田エコシステム推進協議会

<EMS 部門クラスⅢ事業>

(1) EMS事業

■ 事業内容

- ・ 事業所拡大 千代田区が推進するCES（千代田エコシステム）への参加事業所の拡大を図ります。
- ・ 事業説明会 最新の環境マネジメントシステム（EMS）動向等の情報発信を行うセミナーを開催します。
- ・ 監査員募集 企業の監査を増やすことを目的に、企業の体系にあった監査を提供するために、ISO審査員有資格者等を対象とした募集を行います。
- ・ 監査員養成研修 監査員資格取得のための研修を行います。
- ・ 監査員実務研修 監査員スキルの維持向上を目的に、実務研修を行います。
各企業・団体が取組む環境問題及び環境ビジネスや社会への貢献等の話しを聞き、監査員の視野を広げレベルアップを図ります。

(2) 監査員チーム

- ・ CES参加事業所に対する監査（監査対象：既存83件、新規5件）
- ・ 指導助言（新規5件）

(3) CES 認証委員会

■ 事業内容

CES 監査終了後に、認証委員会（第三者機関）を開催します。認証された被監査先へは、認定ロゴマーク入りの認証書を発行します。また、CES に対する活動に工夫や努力が見られ、他の事業者の模範となる取組みを行っている事業所に対しては、表彰を行い記念品を贈呈します。

<事業者部門>

(4) 環境配慮宣言事業

■ 対象 事業内容

区内の個人事業所等を対象に、環境に配慮した取り組み(電気、ガス、水道、ゴミ、エコドライブ(車の燃費)の計測等いずれか1つ以上)を宣言していただき、それを実行しやすくするために、各事業所に適した環境配慮活動の支援を行います。

平成31年度も引続き、各事業所の来客用「くじ付きうちわ」と当たり用景品を配布し、環境配慮宣言「千代田のエコ自慢」のステッカーを店頭に貼っていただきます。

■ 目標 120件

★★ 環境配慮宣言「千代田のエコ自慢」とは？ ★★

多くの区内個人事業主に、CESの活動に参加していただき、「環境モデル都市」千代田区のCO₂排出削減活動を促進するために、まずは宣言するだけで参加できる「環境配慮宣言」を構築しました。どなたでも気軽に取り組むことのできる仕組みとなっています。

《普及啓発事業》

(5) CES 養蜂プロジェクト

■ 目標

養蜂事業で8~10群を飼育し、年間400kg程度の蜂蜜を生産・販売することを当面の目標として活動します。また、養蜂事業の知名度や親和性を活用し、CESが出展するイベントで蜜蜂の展示を行うことでCESの普及啓発活動を行います。そのために以下の事業内容の達成に向け活動とCESの普及啓発を推進します。

■ 事業内容

・飼育群数の増加

飼育群数を前年度の3群~5群へと増やし、蜂蜜200kgの生産を目標にします。CES内部での人員や技術力が不十分であるため、日常的な飼育管理のための作業を専門家へ委託します。

・人材育成

蜜蜂の飼育管理、販売の内製化に向け実務を担う人材の育成活動を行います。具体的には、インストラクターを活用し、サポートボランティアを対象にしたコアメンバー3~5人程度の育成を行います。

・飼育場所の確保

2020年度以降にも養蜂事業を継続するための飼育場所の確保を行います。千代田区の低未利用財産や民有地の貸借を軸に検討を進めます。

・CESの普及啓発

すべてのサポートボランティアを対象にした養蜂関連イベント(採蜜や蜜蝋を使ったワークショップ、講演会など)を開催します。

(6) 再開発ビル等の自然エネルギー利用相談と

シンポジウム・講演会・見学会開催

■ 事業内容

- ・自然エネルギー利用技術の見学 地中熱利用・地熱発電・太陽光発電・水力発電
風力発電・食品残さのバイオ発電等 ZEBの見学

・環境講演会の開催

開催日：2019年9月13日(金)

会場：日本教育会館8階 第一会議室(定員300人)

テーマ：「持続可能な社会の担い手を育てる教育・学習(ESD)

—SDGs推進のエンジンであるESDを学ぶ—

講師：立教大学 環境教育学部教授 阿部 治 氏 (予定)

※講師プロフィール

立教大学 ESD 研究センター長

ESD-J(特定非営利活動法人 自足可能な開発のための教育推進会議)代表理事

(7) CES 環境活動普及助成制度事業

■ 目的

地球温暖化を踏まえて、各大学のゼミ及びサークルをはじめ、区内在住・在勤・在学者のグループ及び個人を対象に、温暖化対策に対する普及啓発・意識向上のための活動・研究に対して助成を行い、更にはそれを基に各大学・団体等との連携を深め、温暖化対策への協働体制を整えることを目的とします。

■ 事業内容 5件を選定

・100,000円/1件(企画運営、会場設定、参加者募集、準備等は全て助成金申請団体が行う。)を上限とします。

・ポスターやチラシを作成し各大学に掲示を依頼し、助成対象チームの審査についてはCESの中より審査員を選出し厳密な審査を行います。

・集大成として、各申請者の発表を兼ねた交流会を開催します。

(8) 出前授業関連事業

■ 事業内容

小学校高学年を対象とした、温暖化対策について楽しく取り組めるアプリをCESのHP及びYoutubeに掲載し、子供たちがタブレットやスマホでダウンロードできるデジタル紙芝居を作ります。

また、平成29・30年度にサンプル用として作成したテキストも、各小学校に配付します。

■ 方法

デジタル紙芝居製作は専門家に委託します。

(9) PR活動

■ 事業内容

町会、商店街等の会合、マンション管理組合、企業環境部、大学等に出向き、或いは事業活動実施時に、1990年対比で2024年までに30%のCO₂削減を呼掛け、更には、千代田エコシステム(CES)の紹介や事業の案内を行います。また、CES活動サポーターの裾野を広げます。

・CES HP の更新

2018年度に作成したFacebook やリニューアルしたHPの更新を活用し、イベントの案内や各事業の報告を通じ、魅力のあるCESをPRし、会員をはじめとし、監査員の募集及び各事業への参加希望者を募ります。幅広い年齢層方々が利用しやすいWebを作成していきます。

・環境情報誌『エコチヨ』の発行(年2回春号・秋号)

(一社)千代田エコシステム推進協議会活動と区的环境活動の周知媒体として、春:(CES担当)・秋:(区担当)の2回/年、各3000部の環境情報誌発行

・会報「CES 通信」の発行

会員・事業関係者・各出張所を対象に、活動報告・イベント案内・会員からの投稿をメインに掲載し2回/年間作成し、CES活動並びに千代田区のCO₂削減に関心を寄せてもらいます。

Vol.3 は、「講演会開催のご案内」、「環境配慮宣言参加店の紹介」、「会員さまの声」、「理事長三題噺」、「ハニービープレス」、「下期開催予定のイベント紹介」等をお届けする予定です。
450 千円

《全体事業》

(10) 区との協働事業

■ 事業内容

5月 中旬	区主催の群馬県嬭恋村で「ちよだ・つま恋の森」植樹ツアーへの参加
6月 7日(金)	環境月間・「ちよだ環境まつり」への協働参加
8月 1日(木)～	打ち水月間・千代田区役所本庁舎前での「打ち水」の実施※千代田区の打ち水月間は8月の1か月間
9月末から10月初旬	「エコチヨ・秋号(vol.11)」の発行(区予算で印刷)
10月頃	千代田社会福祉協議会主催「福祉まつり」への出展
11月頃	「エコ&サイクルフェア／千代田のエコ自慢」の共催事業を開催します。

以上